

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
理科	4 大日本 新版 理科の世界	<p>○ 「くらしの中の理科」という欄で、理科が生活においていかに活用されているかを知らせ、生徒の学習意欲を喚起したり、「トピック」という欄では科学の話題を紹介し、興味関心を育む配慮がされている。</p> <p>○ 課題は「？」マークで示され、「思い出そう」で小学校からの既習事項から見通しをもち、生徒の吹き出しで予想を考えさせ、「実験・観察」「結果の整理」「やってみよう」（発展）という科学的な探究の構成になっている。実験は色枠で囲まれ、実験の課題が分かりやすく提示されており、指導者や生徒にとって分かりやすい構成になっている。</p> <p>○ 「話し合ってみよう」という欄があり、生徒の思考の流れに沿った言語活動ができるよう生徒の会話形式での記述があり、科学的な見方や考え方を養う工夫がなされている。</p> <p>○ 巻頭で、理科の学習の進め方と教科書の使い方をていねいに解説している。器具の使い方やノート・グラフの書き方等も詳しく説明し、科学的に探究するための基礎と態度を育てる工夫がある。</p> <p>○ 章末に5問程度の問題があり、単元末には重要語句のまとめがキーワードや教科書の参照ページなどと共に分かりやすく簡潔にまとめられている。単元末問題はきれいな図と共に2ページある。特に「読解力問題」という思考力や表現力をみる問題があり評価できる。「サイエンスランド」というクイズのような問題は、下位生徒にとっても興味が沸くもので、特長となっている。</p> <p>○ 単元の導入で、「これまでに学習したこと」と「これから学習すること」をはっきり示し、単元全体の見通しをもちやすくしている。必要に応じ、計算の仕方の復習が掲載されており、個への対応として評価できる。</p> <p>○ 単元の構成は、物理・化学・生物・地学の学習が他学年と重ならないよう配慮されており、理科室の備品が不足するといった事態が回避できる。</p> <p>○ 写真やイラストが分かりやすくきれいである。先生のキャラクターや生徒の吹き出しなどを効果的に用いており、生徒にとって親しみやすいと思われる。実験・観察は色枠で囲まれており、解説と区別がつき分かりやすい。実験・観察の注意は黄色い枠に書かれており、たいへん意識し易く工夫が感じられる。</p>